

2013年8月期 第1四半期業績 および通期見通し

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員 CFO

1

CFOの岡崎です。
私から、2013年8月期第1四半期の業績、および
通期の業績見通しについてご説明いたします。

| | | | |
|---------------------|-----|---|-----|
| I. 第1四半期決算概要 | P3 | ～ | P16 |
| II. 2013年8月期 通期業績予想 | P17 | ～ | P18 |
| III. ご参考資料 | P19 | ～ | P23 |

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジーユー事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2013年8月期 第1四半期実績

売上高:3,181億円(前年同期比+16.7%)
営業利益:566億円(前年同期比+16.9%)
経常利益:597億円(前年同期比+23.4%)

| | 2012年8月期 | 2013年8月期 | |
|----------------|-----------------|------------------------|-----------------|
| | 第1四半期実績 | 第1四半期実績 | 前年同期比 |
| 売上高 (売上比) | 2,726 100.0% | 3,181 100.0% | +16.7% |
| 売上総利益 (売上比) | 1,411 51.8% | 1,616 50.8% | +14.5% ▲1.0p |
| 販管費 (売上比) | 927 34.0% | 1,050 33.0% | +13.3% ▲1.0p |
| 営業利益 (売上比) | 484 17.8% | 566 17.8% | +16.9% +0.0p |
| 経常利益 (売上比) | 484 17.8% | 597 18.8% | +23.4% +1.0p |
| 純利益 (売上比) | 311 11.4% | 384 12.1% | +23.5% +0.7p |

単位: 億円

3

2013年8月期 第1四半期の連結業績ですが、
 売上高は3,181億円、前年同期比16.7%増、
 営業利益は566億円、同16.9%増、
 経常利益は597億円、同23.4%増、
 純利益は384億円、同23.5%増となりました。

【連結】第1四半期 増収増益の要因

売上高 3,181億円 (前年同期比 +16.7%)

- ・ 海外ユニクロ事業 +218億円
- ・ 国内ユニクロ事業 +146億円
- ・ グローバルブランド事業 +90億円

売上高総利益率 50.8% (前年同期比 ▲1.0p)

- ・ 国内ユニクロでの低下 ▲0.8p

売上高販管費比率 33.0% (前年同期比 ▲1.0p)

- ・ 経費コントロールの効果

営業利益 566億円、営業利益率17.8% (前年同期比 ±0.0p)

経常利益 597億円、経常利益率18.8% (前年同期比 +1.0p)

- ・ 為替差益30億円

純利益 384億円、前年同期比23.5%増

まず売上高ですが、3,181億円と前年同期比454億円の増収となりました。その内訳ですが、海外ユニクロ事業が218億円の増収、国内ユニクロ事業が146億円の増収、グローバルブランド事業が90億円の増収となっております。

売上高総利益率は50.8%と、前年同期比1.0ポイント低下いたしました。粗利益率低下の要因としては、国内ユニクロ事業の粗利益率が同0.8ポイント低下したことがあげられます。

売上高販管費比率は33.0%と、前年同期比1.0ポイント低下いたしました。これは、事業全般で経費コントロールができたことによります。

これらの結果、営業利益は566億円、営業利益率は17.8%となりました。

経常利益につきましては597億円、経常利益率は18.8%と、同1.0ポイント上昇しております。経常利益率が改善したのは、営業外収支が前年同期比から32億円改善したことによります。8月末より円安が進んだことにより、この第1四半期では為替差益30億円を計上しております。

純利益は384億円、前年同期比23.5%増となりました。

第1四半期 グループ事業別実績

単位：億円

| | | 2012年8月期 | 2013年8月期 | |
|-------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|
| | | 第1四半期実績 | 第1四半期実績 | 前年同期比 |
| 国内ユニクロ事業 | 売上高 | 1,900 | 2,047 | +7.7% |
| | 営業利益 (売上比) | 376 19.8% | 399 19.5% | +6.2% ▲0.3p |
| 海外ユニクロ事業 | 売上高 | 426 | 645 | +51.1% |
| | 営業利益 (売上比) | 54 12.8% | 84 13.0% | +53.2% +0.2p |
| グローバルブランド事業 | 売上高 | 392 | 483 | +23.0% |
| | 営業利益 (売上比) | 53 13.7% | 62 13.0% | +16.6% ▲0.7p |

注 連結業績には上記の他、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

グループ事業別の業績は、こちらのスライドの通りです。

国内ユニクロ事業の売上高は2,047億円、営業利益は399億円、
海外ユニクロ事業の売上高は645億円、営業利益は84億円、
グローバルブランド事業の売上高は483億円、営業利益は62億円と、
それぞれ増収増益を達成いたしました。

1Q
(9~11月) **増収増益**
期初予想比:売上高約50億円、営業利益約8億円上回る

単位: 億円

| | 2012年8月期 第1四半期実績 | 2013年8月期 | |
|-----------------------|---------------------|------------------------|----------------|
| | | 第1四半期実績 | 前年同期比 |
| 売上高 (売上比) | 1,900 100.0% | 2,047 100.0% | +7.7% |
| 売上総利益 (売上比) | 920 48.4% | 976 47.7% | +6.0% ▲0.8p |
| 販管費 (売上比) | 544 28.6% | 576 28.1% | +5.9% ▲0.5p |
| 営業利益 (売上比) | 376 19.8% | 399 19.5% | +6.2% ▲0.3p |

6

スライド6ページからは、各事業についてご説明いたします。

まず国内ユニクロ事業ですが、第1四半期の売上高は2,047億円、前年同期比7.7%増、営業利益は399億円、同6.2%増と、増収増益を達成いたしました。

10月に発表した期初予想に比べて、売上高は約50億円、営業利益は約8億円上回っております。

詳細につきましては、次のスライドでご説明させていただきます。

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

1Q (9~11月) 売上高 2,047億円 (前年同期比+7.7%)

既存店売上高: 前年同期比+5.0%

ユニクロ直営店 2012年11月末 832店舗(前年同期末比+3店舗)
スクラップ&ビルドによる店舗の大型化

既存店売上高+5.0%の内訳

客数 前年比+6.9% ⇒ 11月に客数が大幅に上昇

気温の低下に伴い、ウルトラライトダウン、ヒートテック、フリース、暖パンなどキャンペーン商品が好調

客単価 前年比▲1.8% ⇒ 一品単価の下落

一品単価が低い商品の構成比が高まったこと、値引きを強めた影響



2012年9月、グローバル繁盛店ビックロ(ユニクロ 新宿東口店)をオープン

| 直営既存店 前年比 | 2013年8月期 | | | | |
|--------------|----------|-------|--------|-------|-------|
| | 9月 | 10月 | 11月 | 1Q累計 | 12月 |
| 売上高 | ▲2.4% | ▲2.2% | +13.7% | +5.0% | +4.5% |
| 客数 | +0.2% | +3.8% | +12.8% | +6.9% | +7.2% |
| 客単価 | ▲2.6% | ▲5.7% | +0.9% | ▲1.8% | ▲2.5% |

まず売上高の状況についてご説明いたします。

売上高が7.7%増となった要因は、第1に既存店売上高が5.0%増になったこと、第2に11月末の直営店舗数が832店舗と3店舗増えたこと、第3に大型店を出店し、標準店・小型店を閉店するスクラップ&ビルドによる店舗の大型化を進めた結果、1店舗当たりの売上高が増加したことによるものです。

なお、2012年9月には、グローバル繁盛店であるビックロ(ユニクロ 新宿東口店)をオープンし、大きな話題となりました。

既存店売上高5.0%増の内訳は、客数が6.9%のプラス、客単価1.8%のマイナスです。

客数がプラスになった要因は、11月以降、気温の低下に伴い、ウルトラライトダウン、ヒートテック、フリース、暖パンといったキャンペーン商品の売上が好調だったことによります。

客単価がマイナスとなった要因は、イージーニットレギンスパンツなどの一品単価が低い商品の構成比が高まったこと、および値引きを強めた影響によります。

12月の既存店売上高は、すでにお知らせしている通り4.5%増と、増収を維持しております。

1Q
(9~11月) 売上高総利益率 47.7% (前年同期比 ▲0.8p)

期初予想比：0.9ポイント下回る

- ・10月から集客を目的とし、期間限定販売の実施日数を増やしたことにより、値引き率が拡大

次に、国内ユニクロ事業の売上高総利益率ですが、47.7%と前年同期比で0.8ポイント低下いたしました。これは期初予想に対して0.9ポイント下回った水準となっております。

10月から、集客を目的とした期間限定販売の実施日数を増やしたことにより、値引き率が拡大し、粗利益率は計画を下回る結果となりました。

1Q 売上高販管費比率 28.1% (前年同期比 ▲0.5p)
(9~11月) 販管費は期初予想通り

対売上高比率は0.5ポイント改善

| | | |
|--------------|-------|-----------|
| ・ 広告宣伝費比率 | 前年同期比 | ▲ 0.5ポイント |
| ・ 人件費比率 | 同 | ± 0.0ポイント |
| ・ 賃借料率&減価償却費 | 同 | ▲ 0.1ポイント |
| ・ その他経費比率 | 同 | + 0.1ポイント |

売上高販管費比率は28.1%と、前年同期比0.5ポイント改善いたしました。

国内ユニクロ事業の売上高は約50億円、期初予想を上回りましたが、販管費は予想通りの水準となっております。

内訳としては、広告宣伝費比率が前年同期比で0.5ポイント改善、人件費比率は横ばい、賃借料と減価償却費の合計では0.1ポイント減少いたしました。

1Q
(9~11月) **売上高・営業利益ともに5割アップ**

特にアジアで業績が好調、計画を上回る

欧米事業は計画通り

アジア中心に55店舗を出店、11月末:347店舗

単位: 億円

| | | 2012年8月期 | 2013年8月期 | |
|----------|-------|----------|----------|--------|
| | | 第1四半期実績 | 第1四半期実績 | 前年同期比 |
| 海外ユニクロ事業 | 売上高 | 426 | 645 | +51.1% |
| | 営業利益 | 54 | 84 | +53.2% |
| | (売上比) | 12.8% | 13.0% | +0.2p |

10

次に海外ユニクロ事業についてご説明いたします。

売上高は645億円、前年同期比51.1%増、営業利益は84億円、同53.2%増と売上高、営業利益ともに5割増を達成いたしました。

特にアジアでの業績が好調だったことにより、業績は計画を上回ることができました。

欧米事業の業績は計画通り推移いたしました。

この第1四半期では、アジアを中心に、計画通り55店舗を純増し、海外ユニクロ事業全体での店舗数は11月末で347店舗に達しております。

各エリアの業績トレンド

中国: 計画を上回る業績を達成

- ・9月から10月中旬まで売上は苦戦したが、気温低下に伴い10月下旬から売上が回復、1Qの既存店売上高はプラス
- ・30店舗を出店

香港: 既存店売上高の二桁増が続き、大幅な増収増益

台湾: 8店舗を出店、計画通りの業績

韓国: 計画を上回る増収増益を達成

- ・既存店売上高は二桁増に転じる
- ・11店舗を出店

シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン: 計画通りの好調な業績

米国: 計画通りの業績

- ・NY5番街店の売上が順調、ニュージャージー、サンフランシスコの新店で大幅増収

ユニクロ欧州(英国、フランス、ロシア): 計画通り、増収増益

スライド11ページからは、各エリアの業績トレンドについてご説明いたします。

まず中国ですが、第1四半期の業績は計画を上回りました。

9月から10月中旬までは、売上は苦戦いたしましたが、気温低下に伴って、10月下旬から売上が回復、第1四半期3ヶ月間での既存店売上高はプラスとなっております。新店も計画通り30店舗を出店し、順調な売上となっております。

香港では、既存店売上高の二桁増が続き、大幅な増収増益となりました。

台湾では、8店舗を出店、計画通りの業績となっております。

韓国では、既存店売上高は二桁増に転じ、計画を上回る大幅な増収増益を達成いたしました。この第1四半期では11店舗を出店しております。

シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピンについては計画通り、好調な業績となっております。

米国では、NY5番街店の売上が順調なこと、9月にニュージャージー州のGarden State Plaza 店、10月にサンフランシスコに出店したことで、大幅な増収となりました。利益面では赤字ではありましたが、業績は計画通りでした。

英国、フランス、ロシアといったユニクロ欧州の第1四半期の業績は、計画通りの増収増益を達成しております。

二桁の増収増益を達成

ジーユー事業：計画通りの好調な業績

- ・既存店売上高は+20%強
- ・1Qでは29店舗を出店、11月末は198店舗

セオリー事業：計画通りの業績

- ・セオリー日本と、PLST(プラステ)事業が好調

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業：

計画通り、前年並みの業績

単位：億円

| | | 2012年8月期 | | 2013年8月期 | |
|-------------|-------|----------|---------|----------|--|
| | | 第1四半期実績 | 第1四半期実績 | 前年同期比 | |
| グローバルブランド事業 | 売上高 | 392 | 483 | +23.0% | |
| | 営業利益 | 53 | 62 | +16.6% | |
| | (売上比) | 13.7% | 13.0% | ▲0.7p | |

12

グローバルブランド事業の第1四半期の売上高は483億円、前年同期比23.0%増、営業利益は62億円、同16.6%増と、二桁の増収増益を達成いたしました。これは売上高、利益ともに計画通りの水準となっております。

ジーユー事業は、この第1四半期では既存店売上高が20%強の増収となり、計画通りの業績となっております。

第1四半期での出店数は、29店舗で、11月末店舗数は198店舗となりました。

セオリー事業については、計画通りの業績を達成いたしました。なかでも、セオリー日本と、PLST(プラステ)が好調で、プラステ事業の11月末の店舗数は50店舗まで拡大しております。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業は、ほぼ計画通り、前年並みの業績となっております。

単位：億円

| | 2011年11月末 | 2012年8月末 | 2012年11月末 | 前年同期比 |
|------|-----------|----------|-----------|-------|
| 総資産 | 6,168 | 5,951 | 6,970 | +802 |
| 流動資産 | 4,463 | 4,245 | 5,141 | +678 |
| 固定資産 | 1,705 | 1,705 | 1,828 | +123 |
| 負債 | 2,630 | 2,002 | 2,512 | ▲117 |
| 純資産 | 3,537 | 3,948 | 4,458 | +920 |

13

次に2012年11月末のバランスシートの説明をさせていただきます。

前年同期末との比較では、流動資産が678億円増加し、固定資産が123億円増加した結果、全体の総資産は802億円増加して、6,970億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。



【連結】B/Sのポイント(前年同期末比)

現金・預金及び有価証券の増加：+696億円(2,348億円⇒3,045億円)
営業キャッシュ・フローの増加

たな卸資産の増加：+98億円(1,016億円⇒1,114億円)

【国内ユニクロ事業】 ▲4億円(618億円⇒614億円)

春夏在庫の順調な処分 ▲68億円

冬物在庫の積み増し +57億円

【海外ユニクロ事業】 +53億円増

11月末店舗数が前年同期末比で124店舗増加

【グローバルブランド事業】 +48億円増

ジーユーおよびセオリーの事業拡大による在庫の増加

有形固定資産の増加 +124億円(654億円⇒778億円)

海外ユニクロ事業で出店数が拡大

為替予約勘定：負債から資産へ+513億円(負債435億円⇒資産77億円)

【国内ユニクロ事業】 為替予約の平均レートが期末レートよりも円高

ヘッジ会計適用のため 損益への影響なし

14

まず、流動資産が増加した要因をご説明します。

現金・預金及び有価証券の合計額は3,045億円と、前年同期末比で696億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業をはじめとする各事業の営業キャッシュ・フローが増加したことによるものです。

期末のたな卸資産は1,114億円と、前年同期末比98億円増加しております。

国内ユニクロ事業の11月末在庫は614億円と同4億円減少しています。

これは、春夏在庫が順調な処分により68億円減少した一方で、冬物在庫を57億円積み増したことにあります。海外ユニクロ事業の在庫は、同53億円増加しております。これは、11月末の店舗数が、前年同期末比で124店舗増えたことにあります。

グローバルブランド事業の在庫は、同48億円増加しております。これは、ジーユーおよびセオリーの事業拡大に伴って在庫が増加したためです。

有形固定資産は、前年同期末比で124億円増加しております。

これは、海外ユニクロ事業で、中国、台湾、韓国を中心に店舗数を拡大させたこと、米国では、新規に大型店2店舗を出店したことによりあります。

グループ全体の店舗数は同147店舗増となっております。

なお、為替予約勘定は、負債側で前年同期末比435億円減少し、資産側で77億円増加しております。国内ユニクロ事業では、長期的なヘッジ方針に従って為替予約を行っておりますが、保有する為替予約の平均レートがより円高になる中で、期末レートが円安に振れた事から、為替予約勘定が負債から資産に振り替わっております。なお、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。

| | 2012年8月期 第1四半期 | 2013年8月期 第1四半期 | コメント |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | +504 | +583 | |
| 税金等調整前当期純利益 | +479 | +595 | 国内、海外ユニクロ事業の利益貢献 |
| 減価償却費、のれんの償却額 | +57 | +57 | |
| 運転資金の増減額 | +92 | +123 | 売上債権、たな卸資産、仕入債務の増減の合計額 |
| 法人税等の支払い・還付 | ▲123 | ▲259 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲112 | ▲92 | |
| 有形固定資産の取得による支出 | ▲89 | ▲68 | |
| 無形固定資産の取得による支出 | ▲10 | ▲8 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲71 | ▲151 | |
| 配当金の支払額 | ▲85 | ▲131 | 期末配当金1株あたり130円の支払 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 321 | 384 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,021 | 2,660 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,348 | 3,044 | |

第1四半期のキャッシュ・フローについてご説明いたします。

営業活動によるキャッシュ・フローは、国内および海外ユニクロ事業の利益貢献などにより583億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、92億円の支出となっております。支出の主な内訳としては有形固定資産の取得で68億円、システム投資などによる無形固定資産の取得で8億円となっております。

なお、連結ベースの設備投資額は101億円で、内訳としては、海外ユニクロ事業で47億円、国内ユニクロ事業で25億円、グローバルブランド事業で22億円、ファーストリテイリングで4億円となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、151億円の支出となっております。支出の主な内訳としては、配当金の支払額131億円となっております。

以上の結果、2012年11月末における現金及び現金同等物の期末残高は3,044億円となりました。

J Brandとは

- ・ 2004年にJeff Rudes(ジェフ ルーズ)氏(現CEO)によって設立されたプレミアム・デニムのリーディングカンパニー。独自でデニム素材を開発し、業界での注目度が高い
- ・ 2012年12月期の売上高約120億円、営業利益約30億円。年率20%の成長続く、高収益企業
- ・ 世界20カ国以上で2,000以上の有名百貨店、セレクトショップで販売。
- ・ 米国におけるプレミアム・デニム(150ドル以上の商品)のマーケットシェアは10%強

子会社化の目的

- ・ アフォーダブルラグジュアリー分野でブランドポートフォリオを拡大
- ・ プレミアム・デニムの卓越したノウハウをもつJ Brandとのシナジー効果で、ファーストリテイリンググループのデニム商品開発力を強化
- ・ ロサンゼルス発のブランドを獲得することにより、米国でのプレゼンスを強化する

現CEOおよび経営チームは、経営陣として残り、グローバルな事業拡大を狙う



すでに発表している通り、2012年12月末にJ Brand Holdingsを子会社化いたしましたので、ご紹介させていただきます。

J Brandとは 2004年に現CEOのJeff Rudes(ジェフ ルーズ)氏によって設立された、プレミアム・デニムのリーディングカンパニーです。独自でデニム素材を開発し、業界で高い注目を集めています。2012年12月期の売上高は約120億円、営業利益約30億円。年率20%の成長を続けている高収益企業です。J Brandは世界20カ国以上で2,000以上の有名百貨店、セレクトショップで販売されており、米国におけるプレミアム・デニム市場でのシェアは10%強です。

我々がJ Brandを子会社化した目的は、

- 1) アフォーダブルラグジュアリー分野でブランドポートフォリオを拡大すること、
- 2) プレミアム・デニムの卓越したノウハウをもつJ Brandとのシナジー効果で、ファーストリテイリンググループのデニム商品開発力を強化すること、
- 3) ロサンゼルス発のブランドを獲得することにより、米国でのプレゼンスを強化することです。

なお、現CEOのジェフ ルーズ氏および経営チームは、子会社化後も経営陣として残り、ファーストリテイリングのビジネス・プラットフォームでグローバルな事業拡大を狙う計画です。

期初予想比:売上高+130億円、営業利益+40億円
 経常利益+40億円、当期純利益+25億円

| | 2012年8月期 通期実績 | 2013年8月期 期初予想 | | 2013年8月期 修正予想 | | 単位: 億円 |
|----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|--------|
| | | (10/11時点) | 前期比 | (1/10時点) | 前期比 | |
| 売上高 (売上比) | 9,286 100.0% | 10,560 100.0% | +13.7% | 10,690 100.0% | +15.1% | |
| 売上総利益 (売上比) | 4,754 51.2% | 5,400 51.1% | +13.6% ▲0.1p | 5,485 51.3% | +15.4% +0.1p | |
| 販管費 (売上比) | 3,490 37.6% | 3,965 37.5% | +13.6% ▲0.1p | 4,010 37.5% | +14.9% ▲0.1p | |
| 営業利益 (売上比) | 1,264 13.6% | 1,435 13.6% | +13.5% ▲0.0p | 1,475 13.8% | +16.6% +0.2p | |
| 経常利益 (売上比) | 1,252 13.5% | 1,425 13.5% | +13.8% +0.0p | 1,465 13.7% | +17.0% +0.2p | |
| 特別損益 | ▲18 | ▲40 | - | ▲40 | - | |
| 当期純利益 (売上比) | 716 7.7% | 845 8.0% | +17.9% +0.3p | 870 8.1% | +21.4% +0.4p | |

スライド17ページからは、2013年8月期の通期業績予想についてご説明いたします。

売上高は、期初予想から130億円増額し、1兆0690億円へ、
 営業利益は、期初予想から40億円増額し、1,475億円へ、
 経常利益は、期初予想から40億円増額し、1,465億円へ、
 当期純利益は、期初予想から25億円増額し、870億円へ修正いたします。

国内ユニクロ事業 : 変更なし
 海外ユニクロ事業 : 売上高 +130億円
 営業利益 +40億円
 グローバルブランド事業 : 変更なし

単位: 億円

| | | 2012年8月期 | | 2013年8月期 | | 2013年8月期 | |
|-------------|---------------|----------------|-------------------|-----------------|------------------|-----------------|--|
| | | 通期実績 | 期初予想 (10/11時点) | 前期比 | 修正予想 (1/10時点) | 前期比 | |
| 国内ユニクロ事業 | 売上高 | 6,200 | 6,530 | +5.3% | 6,530 | +5.3% | |
| | 営業利益 (売上比) | 1,023 16.5% | 1,090 16.7% | +6.5% +0.2p | 1,090 16.7% | +6.5% +0.2p | |
| 海外ユニクロ事業 | 売上高 | 1,531 | 2,160 | +41.0% | 2,290 | +49.5% | |
| | 営業利益 (売上比) | 109 7.2% | 160 7.4% | +45.5% +0.2p | 200 8.7% | +81.8% +1.5p | |
| グローバルブランド事業 | 売上高 | 1,530 | 1,850 | +20.9% | 1,850 | +20.9% | |
| | 営業利益 (売上比) | 145 9.5% | 185 10.0% | +27.2% +0.5p | 185 10.0% | +27.2% +0.5p | |

注 連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの業績、のれん償却費が含まれております。

18

グループ事業別の売上高、営業利益はスライド18ページの通りです。
 国内ユニクロ事業については第1四半期で若干の上ぶれはありましたが、
 通期での修正はございません。

海外ユニクロ事業については売上高で130億円、営業利益で40億円、
 増額修正しております。グローバルブランド事業については、期初予想から変
 更はございません。なお、J Brandの業績予想については、2012年12月末に
 子会社化したばかりのため、今回は業績予想に加えておりません。

海外ユニクロ事業の増額修正の背景は、期初において、特に中国、韓国での
 景気のスローダウンなどを考慮し、慎重な業績予想をしておりましたが、その後、
 アジア全般で予想以上に好調な業績が続いたことから、
 通期の予想数値を上方修正しております。

最後に、2013年8月期の一株当たり配当金ですが、
 中間配当金140円、期末配当金140円、あわせて年間配当金は280円と
 期初予想から変更はございません。

以上で私からの説明を終わります。
 ありがとうございました。

| | 2012年8月期 | 2013年8月期 | |
|-------------|----------|----------|-------|
| | 通期実績 | 予想 | 前期比 |
| 売上高 | 6,200 億円 | 6,530 億円 | +5.3% |
| 既存店伸び率(通期) | ▲0.5% | +0.9% | - |
| 上期 | +2.3% | +0.0% | - |
| 下期 | ▲4.3% | +2.4% | - |
| 店舗数純増(通期) | 2店舗 | 9店舗 | +7店舗 |
| 上期 | 6店舗 | 7店舗 | +1店舗 |
| 下期 | ▲4店舗 | 2店舗 | +6店舗 |
| 売上高総利益率(通期) | 48.3% | 48.6% | +0.3p |
| 上期 | 48.2% | 48.1% | ▲0.1p |
| 下期 | 48.4% | 49.4% | +1.0p |
| 売上高販管费率(通期) | 31.8% | 31.9% | +0.1p |
| 上期 | 28.4% | 29.1% | +0.7p |
| 下期 | 36.6% | 35.9% | ▲0.7p |

【連結】2013年8月期 上期業績予想

単位：億円

| | 2012年8月期 上期実績 | 2013年8月期 上期 | | 2013年8月期 上期 | |
|----------------|------------------|-------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| | | 期初予想 (10/11時点) | 前年同期比 | 修正予想 (1/10時点) | 前年同期比 |
| 売上高 (売上比) | 5,255 100.0% | 5,855 100.0% | +11.4% | 5,965 100.0% | +13.5% |
| 売上総利益 (売上比) | 2,684 51.1% | 2,980 50.9% | +11.0% ▲0.2p | 3,045 51.0% | +13.4% ▲0.1p |
| 販管費 (売上比) | 1,767 33.6% | 2,050 35.0% | +16.0% +1.4p | 2,085 35.0% | +18.0% +1.4p |
| 営業利益 (売上比) | 917 17.5% | 930 15.9% | +1.4% ▲1.6p | 960 16.1% | +4.6% ▲1.4p |
| 経常利益 (売上比) | 935 17.8% | 925 15.8% | ▲1.1% ▲2.0p | 955 16.0% | +2.1% ▲1.8p |
| 当期利益 (売上比) | 577 11.0% | 555 9.5% | ▲4.0% ▲1.5p | 575 9.6% | ▲0.5% ▲1.4p |



<ご参考資料>

【国内ユニクロ事業】2013年8月期 上期・下期業績予想

単位：億円

| | 2012年8月期 | 2013年8月期 | | 2012年8月期 | 2013年8月期 | |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 上期実績 | 上期予想 | 前年同期比 | 下期実績 | 下期予想 | 前年同期比 |
| 売上高 (売上比) | 3,645 100.0% | 3,785 100.0% | +3.8% | 2,554 100.0% | 2,745 100.0% | +7.4% |
| 売上総利益 (売上比) | 1,758 48.2% | 1,820 48.1% | +3.5% ▲0.1p | 1,237 48.4% | 1,355 49.4% | +9.5% +1.0p |
| 販管費 (売上比) | 1,035 28.4% | 1,100 29.1% | +6.2% +0.7p | 936 36.6% | 985 35.9% | +5.2% +0.7p |
| 営業利益 (売上比) | 722 19.8% | 720 19.0% | ▲0.3% ▲0.8p | 300 11.8% | 370 13.5% | +22.9% +1.7p |

連結対象会社別出退店 実績・予想

| 【単位：店舗】 | 2012年 8月期 期末 | 2013年8月期 | | | | | | | |
|------------------|--------------------|----------------|----|-----|-------|----------------|----|------|-------|
| | | 1Q実績(2012/11末) | | | | 通期 予想(2013/8末) | | | |
| | | 出店 | 退店 | 純増減 | 期末 | 出店 | 退店 | 純増減 | 期末 |
| ユニクロ事業合計 | 1,137 | 80 | 19 | +61 | 1,198 | 208 | 52 | +156 | 1,293 |
| 国内ユニクロ事業: | 845 | 23 | 17 | +6 | 851 | 53 | 44 | +9 | 854 |
| 直営店 | 824 | 22 | 14 | +8 | 832 | 52 | 41 | +11 | 835 |
| 大型店 | 147 | 16 | 2 | +14 | 161 | 34 | 2 | +32 | 179 |
| 標準店等 | 677 | 6 | 12 | ▲6 | 671 | 18 | 39 | ▲21 | 656 |
| FC | 21 | 1 | 3 | ▲2 | 19 | 1 | 3 | ▲2 | 19 |
| 海外ユニクロ事業: | 292 | 57 | 2 | +55 | 347 | 155 | 8 | +147 | 439 |
| 中国(除く香港) | 145 | 30 | 1 | +29 | 174 | 84 | 4 | +80 | 225 |
| 香港 | 16 | 0 | 0 | 0 | 16 | 3 | 1 | +2 | 18 |
| 台湾 | 17 | 8 | 0 | +8 | 25 | 20 | 0 | +20 | 37 |
| 韓国 | 80 | 11 | 1 | +10 | 90 | 26 | 3 | +23 | 103 |
| シンガポール | 7 | 1 | 0 | +1 | 8 | 4 | 0 | +4 | 11 |
| マレーシア | 5 | 1 | 0 | +1 | 6 | 3 | 0 | +3 | 8 |
| タイ | 4 | 2 | 0 | +2 | 6 | 5 | 0 | +5 | 9 |
| フィリピン | 1 | 1 | 0 | +1 | 2 | 5 | 0 | +5 | 6 |
| 英国 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 米国 | 3 | 2 | 0 | +2 | 5 | 4 | 0 | +4 | 7 |
| フランス | 2 | 1 | 0 | +1 | 3 | 1 | 0 | +1 | 3 |
| ロシア | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ジーユー事業 | 176 | 29 | 7 | +22 | 198 | 60 | 20 | +40 | 216 |
| セオリー事業※ | 373 | 13 | 1 | +12 | 385 | 40 | 1 | +39 | 412 |
| コントワー・デ・コトニエ事業※ | 383 | 1 | 4 | ▲3 | 380 | 15 | 8 | +7 | 390 |
| プリンセス タム・タム事業※ | 153 | 1 | 1 | 0 | 153 | 7 | 5 | +2 | 155 |
| ※ FC店含む 総 合 計 | 2,222 | 124 | 32 | +92 | 2,314 | 330 | 86 | +244 | 2,466 |

適用為替レート

単位：円

| | 1USD | 1EUR | 1GBP | 1RMB | 100KRW |
|---------------------------|------|-------|-------|------|--------|
| 2013年8月期 第1四半期(3ヶ月平均) | 78.6 | 100.6 | 126.1 | 12.5 | 7.1 |
| 2012年8月期 第1四半期(3ヶ月平均) | 77.0 | 108.1 | 123.4 | 12.1 | 6.9 |
| 2013年8月期 通期予想レート(10/11時点) | 80.0 | 100.0 | 125.0 | 12.5 | 7.0 |
| 2012年8月期 通期実績(12ヶ月平均) | 78.6 | 103.9 | 124.3 | 12.4 | 6.9 |

設備投資・減価償却費・のれん償却額

単位：億円

| | 設備投資 | 減価償却費 | のれん償却額 |
|-------------------------|------|------------------|--------|
| 2013年8月期 第1四半期実績(3ヶ月累計) | 101 | 47 | 9 |
| 2012年8月期 第1四半期実績(3ヶ月累計) | 125 | 42 | 15 |
| 2013年8月期 通期予想(12ヶ月累計) | 340 | 204 [※] | 40 |
| 2012年8月期 通期実績(12ヶ月累計) | 401 | 185 | 56 |

※：期初に発表した2013年8月期の減価償却費には、リース償却額が含まれておりませんでした。